

人生を生きるとは？豊かさは何か？

—ラオスでの教育、障がい児、女性支援活動にたずさわって—



●講演 **石原ゆり奈** (国際学校建設支援協会、Support for Woman's Happiness 代表理事)

●司会 **小森 清久** (英語科講師)

■何が「できる」かを知ること

私はラオスとネパールで学校を作る教育支援のNPOを運営してきました。

教育の素晴らしさや子ども達との交流から心の養分をもらいつつ、一方で学校教育から零れ落ちていく障がい児や女生徒に対して出来ることを見つけられない日々が続いていました。

障がいがあると学校に来ることができないことが多いですし、女生徒は学年が上がってくると学校を辞めて家の手伝いに従事することが多いのです。

そんな時、ラオスの障がい女性から「障がいがあっても正当な賃金で働ける作業所を

作りたい。普通に生きることが叶えられる場所を作りたい」という相談を受けました。

そこでラオスの首都ビエンチャンに障がいのある方たちが一緒に暮らし、働ける作業所をオープンし、日本から技術指導に通っています。

障がいの種類は様々で、一人一人の「できる」は違います。

自分らしく自分の人生を生きる事。そのために必要な自立支援や職業訓練支援活動を続けていますが、その中での学びやゴールの設定についてなど、お話したいと思います。



石原ゆり奈 (いしはら ゆりな)

福岡雙葉高等学校卒 上智大学文学部社会学科卒
2014年人間力大賞 文部科学大臣奨励賞受賞。
大学在学中に国際支援に携わり、2009年から団体として本格的に途上国の学校建設支援活動をスタートし、対象支援がネパールとラオスの2か国に。
2011年、特定非営利活動法人国際学校建設支援協会設立。
教育支援に加えて Support for Woman's Happiness を立ち上げ、ラオスで障がい作業所を運営し、職業訓練指導を行っている。

Support for Woman's Happiness

ラオスの女性達を支援するために立ち上げたプロジェクト。現在は日本の企業さんから「花蓮てまり」の製造の注文を受けたり、自社ブランド「FranMuan」を立ち上げ、障がい作業所でモノづくりを行っています。

<https://www.support-women.net/>



6月27日(木) 17:30~19:00

新宿校 502教室



**入場無料
申込不要**

〒160-0023 新宿区西新宿 7-12-1

☎0120-198-520

●JR・小田急線・京王線・東京メトロ丸ノ内線・都営新宿線／新宿駅西口より徒歩3分

●都営大江戸線／新宿西口駅D4出口より徒歩1分

●西武新宿線／西武新宿駅南口より徒歩3分

